



六華の心

酒田市立第六中学校
学校だより第10号
校長 齋藤 啓悦
令和2年 6月9日

感染予防と教育活動の保障

安全を最優先&「持続可能」な学校生活様式



学校が再開し、3週目に入りました。学校に生徒の声が響くことに喜びながら、こんなに声を出してコロナ対策は大丈夫かと心配しています。学校では「毎朝の検温、手洗い、マスク着用、換気、3密回避」などの“新しい生活様式”を実践しています。しかし、休み時間や放課後など、友だちとの会話や丁寧な手洗いなどなかなか徹底できない部分もあります。

一人でできることがみんなのためになることを再認識しなければなりません。

また、これから気温が高くなり熱中症も心配されます。屋外で2m以上の距離が確保



できる場合はマスクを外してよいとされています。水分補給もしっかり行い、体調が悪く感じるときは無理せずに休むなど、体調管理には十分気をつけましょう。



できる限りの対策をした上で、授業の確保はもちろんですが、行事や部活動なども保障し、生徒が十分に学んだり体験したりして力を伸ばせる“持続可能”な学校にしていきたいと思えます。ご意見等ございましたらぜひ学校までお寄せください。

【PTA評議員会・母親委員会・・・『校長あいさつ』（一部抜粋）】

3月から臨時休校がつづき、しかも入学式直前の変更、さらに延期となった入学式後もすぐに休校となるなど、子どもたちはもちろん、保護者の皆様、ご家族の皆様にも、これまでたいへんご心配とご負担をおかけいたしました。

休校中は分散登校を各学年で工夫したやり方で行いましたが、やはり子どもたちの顔を見ると先生方もほっとしました。そして、ようやく先月25日から学校が再開となりました。

学校での新型コロナ対策はここではすべて紹介できませんが、教職員が朝から様々な対応をしております。ご家庭でも毎朝の検温やカードの記入にもご協力をいただいております。緊急事態宣言が解除され、県内の感染者も1か月以上出ておりませんが、いつ第2波が来るかわかりません。北九州市のような例もあります。発熱や体のだるさなど、体調が優れないときは無理せず休むという選択をしてほしいと思います。心配な点がございましたら、いつでも学校にご連絡をいただきたいと思います。

学校再開が大幅に遅れたため、学校の教育計画も大きく変更しました。（夏季休業、定期テスト、保護者会の変更などは6月4日に配付しました通知のとおりです）

授業だけでなく、様々な生徒の活動や行事を大幅に変更せざるを得ません。コロナ対策を十分徹底し、その中でいかに授業を工夫して行い、行事などの体験活動を保障していくか、一年を通してこのバランスをとっていくしかありません。「持続可能」がキーワードと思っています。

部活動においても地区総体を始め、県大会など上位大会もすべて中止となり、吹奏楽コンクールも同様に中止となりました。目標を持って頑張ってきた生徒、特に3年生のことを思うと非常に残念でなりません。現在、部活動は段階的に再開しましたが、自校のみの練習となっており、練習会等ができるかは今後の県や市の方針が出てからの判断となります。ただ、3年生の活動は大会やコンクールがある部を除いては7月いっぱい飽海地区の中学校で統一しました。本校としては7月26日（日曜日）を最終と考えております。3年生が少しでも納得できる形で引退できればと思います。

「六華の心」を育て、六中生であることに自信と誇り、つまり「六中プライド」を持った生徒を育てていきたいと思えます。子どもたちはだんだんと大人になりますが、まだまだ教えることはたくさんあります。心を育てるには時間がかかり、子どもたちの成長のためには多くの大人の手が必要です。ご家庭、地域の皆様のご協力で六中を支えていただければと思います。今後どうぞよろしく願いいたします。

